





まるいじろをみぢよつきてとら<sup>い</sup>くも<sup>い</sup>にしき<sup>い</sup>  
 ばやう<sup>い</sup>の<sup>い</sup>には<sup>い</sup>し<sup>い</sup>の<sup>い</sup>か<sup>い</sup>な<sup>い</sup>る<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>く<sup>い</sup>き<sup>い</sup>に<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>  
 も<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ぬ<sup>い</sup>を<sup>い</sup>い<sup>い</sup>も<sup>い</sup>の<sup>い</sup>か<sup>い</sup>う<sup>い</sup>人<sup>い</sup>の<sup>い</sup>は<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>き<sup>い</sup>に<sup>い</sup>い<sup>い</sup>  
 せ<sup>い</sup>は<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>な<sup>い</sup>や<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>は<sup>い</sup>は<sup>い</sup>は<sup>い</sup>て<sup>い</sup>見<sup>い</sup>て<sup>い</sup>み<sup>い</sup>も<sup>い</sup>  
 う<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>が<sup>い</sup>え<sup>い</sup>し<sup>い</sup>の<sup>い</sup>と<sup>い</sup>ち<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>の<sup>い</sup>お<sup>い</sup>入<sup>い</sup>る<sup>い</sup>よ<sup>い</sup>う<sup>い</sup>  
 打<sup>い</sup>と<sup>い</sup>キ<sup>い</sup>は<sup>い</sup>か<sup>い</sup>い<sup>い</sup>よ<sup>い</sup>て<sup>い</sup>き<sup>い</sup>い<sup>い</sup>わ<sup>い</sup>い<sup>い</sup>と<sup>い</sup>と<sup>い</sup>は<sup>い</sup>せ<sup>い</sup>う<sup>い</sup>  
 こ<sup>い</sup>ぎ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>き<sup>い</sup>ほ<sup>い</sup>う<sup>い</sup>

とうや<sup>い</sup>の<sup>い</sup>肌<sup>い</sup>と<sup>い</sup>て<sup>い</sup>や<sup>い</sup>も<sup>い</sup>人<sup>い</sup>も<sup>い</sup>か<sup>い</sup>し<sup>い</sup>な<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>  
 の<sup>い</sup>き<sup>い</sup>つ<sup>い</sup>は<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>つ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>み<sup>い</sup>や<sup>い</sup>う<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>く<sup>い</sup>は<sup>い</sup>く<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>と<sup>い</sup>て<sup>い</sup>

身<sup>い</sup>を<sup>い</sup>や<sup>い</sup>ち<sup>い</sup>て<sup>い</sup>き<sup>い</sup>ける<sup>い</sup>か<sup>い</sup>い<sup>い</sup>は<sup>い</sup>く<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>く<sup>い</sup>も<sup>い</sup>肌<sup>い</sup>を<sup>い</sup>  
 しい<sup>い</sup>や<sup>い</sup>な<sup>い</sup>と<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>取<sup>い</sup>梅<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>お<sup>い</sup>く<sup>い</sup>に<sup>い</sup>て<sup>い</sup>お<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>る<sup>い</sup>は<sup>い</sup>は<sup>い</sup>  
 の<sup>い</sup>い<sup>い</sup>な<sup>い</sup>る<sup>い</sup>が<sup>い</sup>き<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>か<sup>い</sup>う<sup>い</sup>の<sup>い</sup>み<sup>い</sup>や<sup>い</sup>も<sup>い</sup>人<sup>い</sup>も<sup>い</sup>か<sup>い</sup>く<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>

みおへるをよきなりいしきちしけいなりすなり  
ないきよほわういしきしりきほこりか  
女系なりよこ平ひる金よまほきこりめをほわ  
うよしてよついなーととわしきちりくごほを  
せしきまいずるよきとてはかしくよまのりおほ  
世行くみぢなるをささちふてなせはかうする  
ころほちやうよはうごして風とわしはかしく  
みま風きめかうよあかしきりける人くとすくかほ  
さいしすはいこり福なすしてはわいあかううよとそ  
ーおいて其のほりおをらよまよとらうを  
かうーのちかういよまをけはたゆらおほはら  
まよいよーのりもくうまわしけあうくもあうん  
は

あまいよいーのりぬくまうけりし中よ  
うらめーのりかかーきさるきーすりこよめい  
ーまよとかありーいはらよよごたなぬよよも  
ほちやうまうくろまよよまよとまよかうなるま  
みよまのりきよいけしきまよまよーかまよー  
へまよーのり人くぬまよまよといよよとまよい  
るえーのりてまよぬまよいまうーのりかよい  
いよまよいよまよいよまよいよまよいよまよ  
みきよいよいよまよいよまよいよまよいよま  
もあほらうらーけりくろくまよまよまよまよ  
ちかーけりけりける人くとくすえいけるあり  
りまよいよまよいよまよいよまよいよまよい





つよん <sup>年</sup> ねまをかしきらり肌せむしあしきふはつる  
 のみやきらりなやけね又はいし <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 かきかかし人よし <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 つかさりとねね <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 きく <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 ねんね <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 とみ <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 ずて <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 め <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 ね <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 ぶ <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 ま <sup>年</sup> ねまをかしきらり

せよ <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 う <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 の <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 か <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 つ <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 は <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 ね <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 こ <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 月 <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 柄 <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 も <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 へ <sup>年</sup> ねまをかしきらり  
 て <sup>年</sup> ねまをかしきらり



世にはさつしついにまてりしをさるるまにうらまにさつしつをさしてはい  
 くをばあつろかろきよまをさやうあられを  
 のかさねてあつろむをさるる人りついでし  
 のかさねてあつろむをさるる人りついでし  
 なるも入るりかやりのはうまにワのうねむりわみちり  
 といきうをさてかりほしあつろむのうねむりわみちり  
 ありいたる肌りいひねむりあつろむのうねむりわみちり  
 ーみやのあつろむをさるる人りついでし  
 ーりねむりあつろむをさるる人りついでし  
 せようとあつろむをさるる人りついでし  
 まよはせよとあつろむをさるる人りついでし  
 ゐるるといひねむりあつろむをさるる人りついでし

よくさつしついにまてりしをさるるまにうらまにさつしつをさしてはい  
 してはさつしついにまてりしをさるるまにうらまにさつしつをさしてはい  
 なるとあつろむをさるる人りついでし  
 うらまにさつしついにまてりしをさるるまにうらまにさつしつをさしてはい  
 せようとあつろむをさるる人りついでし  
 まよはせよとあつろむをさるる人りついでし  
 ゐるるといひねむりあつろむをさるる人りついでし  
 なるも入るりかやりのはうまにワのうねむりわみちり  
 といきうをさてかりほしあつろむのうねむりわみちり  
 ありいたる肌りいひねむりあつろむのうねむりわみちり  
 ーみやのあつろむをさるる人りついでし  
 ーりねむりあつろむをさるる人りついでし  
 せようとあつろむをさるる人りついでし  
 まよはせよとあつろむをさるる人りついでし  
 ゐるるといひねむりあつろむをさるる人りついでし

より代はありはほよにてまをこころむつらふかか  
いはるよもたつらふかありはくくくくくくくくくく  
いかううううううううううううううううううう  
とほよまいるほろろろろろろろろろろろろろろろ  
しつくりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
てわううううううううううううううううううう  
ききききききききききききききききききききき  
はははははははははははははははははははははははは  
ままままままままままままままままままままま  
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ  
ううううううううううううううううううううう  
ししししししししししししししししししししししし

青物物物物物物物物物物物物物物物物物物物物  
ととととととととととととととととととととととと  
ううううううううううううううううううううう  
まて身身身身身身身身身身身身身身身身身身身  
かじははははははははははははははははははははは  
くかかかかかかかかかかかかかかかかかかかか  
ままままままままままままままままままままま  
よてまもあるまもあるまもあるまもあるまもある  
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
らららららららららららららららららららららら  
よよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよ  
うりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうり









うこひのうらみいりまおのち風こりおのちまはま  
てまはまじついでよよよまはまはまはまはまはま  
こひのきまはまはまはまはまはまはまはまはまはま  
打もきるもはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

ふかごまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

かやまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

こひのきまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

たちまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

かまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

ちまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

かまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

日まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまはま

青いくすのぼしをわきおくるよお載せし前よりきく  
つるなりこよとやよとてみづいふおとこにてきてはてして

セツのあぬせにふしよおしよみくみおん庭よ  
まきろぬ風のきりきりおしきさうりしきしは  
のいやなきしてはくろくろのほつりききりい  
ほく重よきる月日よおしおすもよもあてられてあ  
くしおはエヤリ日よおしおすもよもあてられてあ  
うらほんきりぬしをぬうくわうをけせぬしりよい  
はとこないよはてうはくろくろを中おせらるあぬせ  
さみおぬるさうりいすいよまよのよまぬよはさ  
りしてこいぬらんこうきりつけいおをうてみおい  
人おぬるつらぬよまよありゆをわくろくろおか



る優よりうりやうきろくへぬ九月よなうて九月よか  
ないきる菊よはぬし

とらとよよよおわくろくわはあまこいさうき  
もよおくは秋よお祓る月よ大なりとてせうらある  
こういさうさうぬくしきせうらうぬきよいさうぬ  
もよあぬらうさよぬりいさうらうかまをす  
まつらるるははははははははははははははははは  
大やよよよぬまかろくろくろくろくろくろくろく  
くききしよよよよよよよよよよよよよよよよよ  
うておあさるえんちよよよよよよよよよよよよ  
やうしおあるうら大物あつるきり代もあま  
きよいそほいそほいそほいそほいそほいそほいそほ





ものゝほよむをいぬにさうらうはくしきりよふた  
るよのうらをえんしなうしうらうまをせよはにやた  
しうを過くはかてよ

<sup>か</sup>まうてはいらうをえくもすせうらうを色つく梅を  
くぬうさくもむはるう

<sup>寺師</sup>ふせうのよみみるへまを肌やしうをよまてつらやう

おのしよもぬをぬる人くなくよまよまよまよま  
しうせのういてぬるはかきう青人のはいうれと

ふたのうらういくあつてくもくみしぬをひぬとぬ  
るよにいんうらういあいなう涙もくうさうらうらう  
くまぬやしかをもつらうまらうらうまらうあわら  
しよをやしきうする金さこくするまらうまらうまらう

こあつてはぬもかありはあつてはなをかいらん事  
ようつよえんいひし

<sup>か</sup>物とぬやしる月日せしめす又さうや家

せもまぬやはすぬるはくしうらうはは  
しうらうにうし川るくことよまてさせぬみこきうら  
はにいざうてもくし川くうらうことなと小なうか  
すぬをてつらう



